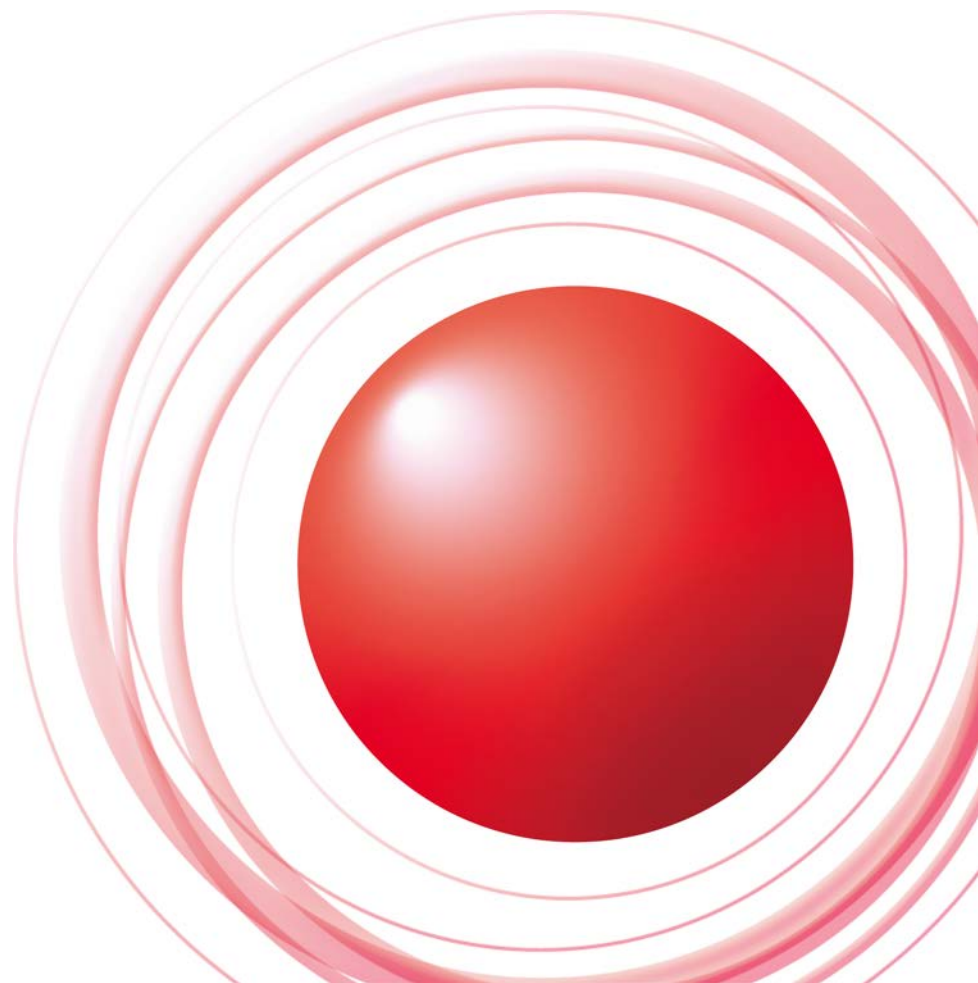


電気通信番号政策委員会 事業者ヒアリング説明資料

2015/7/9
株式会社インターネットイニシアティブ

Ongoing Innovation



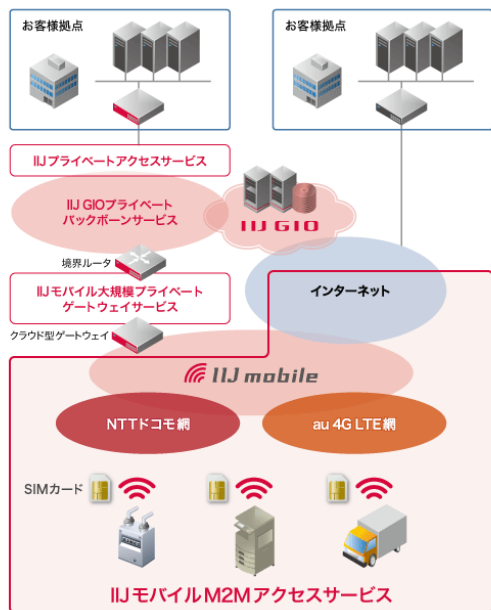
事業紹介

- **2008年1月、MVNO事業に参入**
- **接続しているMNOと時期**
 - NTTドコモ社
 - 3G (2008年1月)
 - LTE (2012年2月)
 - ソフトバンクモバイル社(旧イー・モバイル社)
 - 3G (2008年3月)
 - KDDI社
 - LTE (2015年4月)
- **総回線数 67.3万回線(平成27年3月末)**
 - 内訳
 - 個人向け43.0万
 - 法人向け10.6万
 - その他(MVNE事業等)13.7万
 - 現在のところ、ほとんど全ての回線はNTTドコモ社より調達

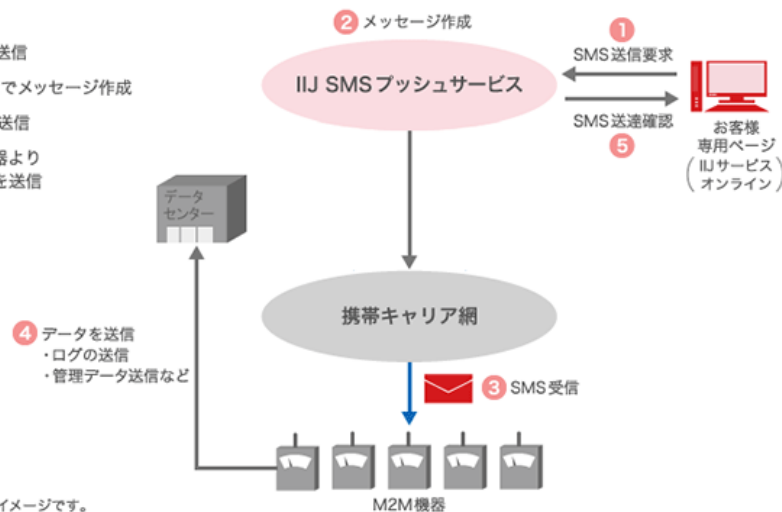
M2M向けサービスについて

● IIJのM2M向けサービスラインナップ

サービス名称	概要
IIJモバイルM2Mアクセスサービス	ワイヤレスM2Mビジネスの基盤となる、閉域のモバイル接続サービス
IIJ SMSプッシュサービス	当社指定のモバイル回線に対してSMS(ショートメッセージ)を一斉送信



- 1 SMSメッセージを作成し送信
- 2 SMSセンターPUSH設備でメッセージ作成
- 3 携帯キャリア網からSMS送信
- 4 SMSをトリガにM2M機器よりデータセンターにデータを送信
- 5 SMSの送達確認



※ ④はM2M機器側で実装されるイメージです。

電話番号の需要見込み【構成員限り】

M2M専用電話番号について

- **M2Mの需要の伸びに対し、M2M専用電話番号を準備することについては賛成**
- **M2M専用電話番号に関する要望**
 - － M2Mにおいて、端末との通信にショートメッセージが重要な役割を担うことから、国際的にショートメッセージが可用であることが重要であり、プライベート番号、あるいはその他の番号 (IMSI、IPアドレス等) による代替は国際的な標準化が進むまでは困難
 - － 近い将来の電話番号の枯渇を回避すべく、当面は現行通り11桁の0A0番号による提供が望ましい
 - － 将来的には、更なる需要に対応できるよう現在の電話番号の桁数にとらわれず桁増しの議論が必要
 - － M2Mの在庫に関連する特性を考え、電気通信番号規則、および電気通信番号指定基準では、既存の携帯電話・PHSとは別の端末伝送路設備としてカテゴリ化するなどして、異なる指定基準を適用することも検討すべき
- **M2M専用電話番号の運用に係る要望**
 - － 一度に多数の端末に対するプロビジョニングが必要となるM2Mの性質上、現行の1番号単位でのMNOからMVNOへの番号割り当ては非効率的
 - － MNOからMVNOへのバルク (例: CDE単位等) での割り当て、もしくはHLRの運用を前提としたMVNOに対する直接的な電話番号の割り当てに関する議論を要望する

携帯電話番号の枯渇対策について

● 携帯電話用番号について

- M2M専用番号の制度化が仮に行われても、MVNOの更なる伸びを含め、携帯電話の需要は引き続き高いものとする
- 現行の070番号帯の枯渇は引き続き喫緊の課題であり、同番号帯の枯渇に備え、新しい番号帯の使用を検討すべきとする

● M2M専用番号について

- M2Mの一部案件では、医療・ライフライン分野などクリティカルな用途へのアプリケーションが検討されており、当社でもMVNOとしてマルチキャリア提供を行っている
 - マルチキャリア...複数のMNOからネットワーク設備の貸し出しを受け、MNOの設備障害の際にこれらを切り替えて利用することで可用性を高めるサービス提供のこと
- 現状、このような案件では、端末に複数のMNOのSIMカードを利用しており、1端末あたり複数の電話番号を消費している
- MVNOが発行するSIMカード(1つの電話番号のみ付与)にてマルチキャリア提供を行うことで、同様の案件での電話番号の消費が半分となることが見込め、番号の有効利用に資するものとする